

大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時：令和 3 年 11 月 10 日（水） 10 時 30 分～11 時 45 分

会 場：役場 3 階 大会議室 東側

参加者：別紙のとおり

～ 次 第 ～

1. 地域振興課長 挨拶

2. 委員紹介

3. 会長・副会長選出

【会 長】 田村 馨

【副会長】 光安 幸蔵

4. 議題

【人口ビジョンに対して】

事務局

人口ビジョンは町の目標人口を示している。令和 2 年国勢調査の速報値では、人口ビジョンに記載されている目標人口・推計人口より 600 人弱増加している。国勢調査の確定値が 11 月末に公表され次第、数値を反映させる予定。

委員

人口ビジョンは数値が更新されるということで、特に意見等なしとする。

【総合戦略について】・【事業の実施状況について】

事務局

令和 3 年度より新規追加となった事業について説明しました。

委員

今日は事業の内容を理解する方がいいのでは？

委員

総合計画と総合戦略の違いは何か。

事務局

総合計画の中に地方創生が組み込まれている。まち・ひと・しごと創生法の中に地方版総合戦略を策定することが義務づけられている。総合戦略は移住・定住の促進と少子化対策の内容について掘り下げていったものである。

委員

今のところ2期で終わる計画？

事務局

5年の計画期間で継続していく計画である。

委員

今の説明を聞いて、初めて正しく理解ができた。町の審議会を傍聴したい方や興味を持っている方がいるので審議会の情報を公表してほしい。

良い結果について説明をされるが、施策の欠点についてもしっかりと説明をしてほしい。町外に対して広報をするのもよいことだが、町内に向けた情報発信も大事。町民の共通認識や町民へのアプローチが重要。このままでは自分の町に対する関心がなくなるのでは？人口は増えたが生産年齢人口は減少したのではないか？SNSのフォロワー数が増えた先の目的は何か？

事務局

町政への住民の関心をもってもらうことが難しい。情報発信は数字だけを目標にしているだけではない。町政に目を向けてほしいという気持ちで業務にあっている。

委員

1度大刀洗を出た人がまた戻ってきたいと思うような町にしてほしい。町外に対しての発信でなく町内に対しての発信にも力を入れてほしい。

事務局

Facebookでは町内外に向けて情報発信を行い、LINEは主に町民に対して情報発信をしている。LINEでは週1回定期的に情報発信しているが受取る側として回数は適切か伺いたい。

委員

私は区長として回覧板を週1回のペースで回しているが、私は多いと感じている。作業量は多く大変であるが住民が本当に見ているのか？と思う気持ちもある。広報紙は人気。広報紙に集約することはできないか？

委員

今は情報発信のツールが多い。対象者に対して適切なツールで発信することが大事である。それぞれに対し情報発信をする中で、統一がとれてなく、バラバラの情報発信をしていることもある。情報を統一することが大事である。

委員

企業の広報はTwitterを用いている。LINEよりTwitterがいいのでは？リツイート機能もあるのでそこから波及効果も得られる。

委員

広報作業は何人で作業している？担当が複数いるのなら可能なことも増えるがもし1人で兼務等もあれば中々難しいのでは。LINEには全部リンクを貼って送るという手法もいいのでは。Twitter派でもLINE派でも誰でもが同じ情報を見られるといい。

事務局

広報紙担当は主に1人で業務をしている。情報発信は係で行っている。情報元は町のホームページ。SNSで情報発信するときはURLやQRコードは載せている。

事務局

今、情報発信の種類が12種類とたくさんある。いろいろな手段で発信しても町民全員に届かせることは難しい。

委員

人口が増えていることはすばらしい。資料に事業所数やアパートの数が数字として見えると、起業を考えている人や移住を考えている人もそれを参考にするのではないかな？

委員

広報は発信者側だけのせいではなく受信側にも課題があると思う。DX(※)化は進む中で高齢者に対してのフォローや抵抗感をなくすやり方を検討する必要がある。具体的には高齢者向けにタブレット端末やスマホの使い方講習を町内の若者に講師をしてもらって開催するとか。受け側の努力は必要。それから資料の見せ方としてKPIの数値のところには第1期の実績をいれてほしい。担当の部署

を入れるとさらにいいのでは。人口ビジョンの出生率を 2045 年までに今の数値から 0.3 伸ばすことになっているが、数字をあげるためにどんな施策が実施

補足))

※DX・・・デジタルトランスフォーメーションの略。

デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良いものへ変化すること。

委員

施策の目的は移住者を増やし大刀洗町を存続していくこと。他の市町村とのわかりやすい差別化が必要だと思う。子育てに特化した町を作れたらと個人的に思った。極端ではあるが大刀洗からオリンピック選手がでる環境を整備するとか。高度な技術を子どもに伝えるサポートや支援をしてはどうか。情報発信の事では Twitter のリツイートのように利用者自身に発信してもらうというのが今の時代に向いているのでは？

委員

広報する中で、役場の誰が担当をされていて、誰が情報を発信しているかわからない。発信者の名前を記載すると町内の人の反応は変わるのでは？職員を個人では知っているが、事業と課名だけでは結びつかずわからないという声をよく聞く。また、高齢者の情報の収集媒体がテレビから YouTube にシフトしているという論文実績がある。紙媒体を動画にしてみる事や、パワポを音楽に合わせて編集したものを流すという手法もある。LINE は毎週更新するのもいいがイベント前に再度発信しては？町民の方でイベントを知っていたが忘れていたということもよくあるので効果はあると思う。

～審議終了～

5. その他

審議会終了後もしご質問やご意見があれば、いつでも地域振興課までご連絡いただきたいと思います。ありがとうございました。